

(報告)

府立高校改革について

府立高校の在り方に係る検討状況について、下記のとおり報告します。

平成30年2月6日

教育長 橋本 幸三

記

1 口丹地域における府立高校の在り方懇話会の開催概要

1月30日(火)開催の「口丹地域における府立高校の在り方懇話会(第2回)」において、管内の高校の在り方等について意見をいただいた。こうした意見等を踏まえ、今年度中に口丹地域の府立高校の在り方に係る方向性を決定していきたい。

＜主な意見＞

- ・中学生の志望状況として、京都市内の高校などに多く流れている傾向がある。
- ・生徒が減少していく中ではあるが、生徒の力を伸ばしていくためには高校には一定の学校規模が必要である。
- ・統廃合に当たっては地域における高校の役割や通学の利便性などの地域性を考慮することが必要である。
- ・府立高校は地域創生の核となるものであり、まちづくりとセットで考えていく必要がある。地域の実情に応じた高校教育を推進するため、地域と一緒に教育を充実させていく仕組みづくりも必要である。
- ・口丹地域の高校6校全てが貴重な進路先であり、連携して一層頑張ってもらいたい。
- ・地域の生徒が減っていくため、全国から募集して外から生徒を呼び込むことも検討してほしい。
- ・普通科の場合、学区により地元の高校以外の選択が難しい現状があるが、この選択肢の少なさが口丹地域の高校が生徒、保護者に敬遠される要因となっているのではないかと。学区の在り方など選抜制度の見直しが必要だと思う。
- ・地域産業の担い手育成に貢献している農業、林業等の専門学科については引き続き存続・充実させてほしい。
- ・北桑田高校美山分校が果たす役割は必要不可欠であるが、施設設備や通学環境等総合的に考慮して引き続き検討する必要がある。
- ・通学の利便性に配慮して、寮や交通費補助などといった通学条件を整備する手立てが必要である。
- ・新たに創設されるふるさと納税制度を活用した府立高校支援に期待している。
- ・地域の高校の魅力を地域の児童生徒、保護者にもっとPRしていくことが重要である。PTAと協力したり、小中高連携を一層進めて進路選択につながる取組を充実させていく必要がある。

(参考) 検討経過

平成28年3月「口丹地域における府立高校の在り方懇話会」第1回開催

- ・地元行政・教育関係者、保護者代表、産業界代表で構成
- ・管内の高校の現状等について共有しつつ魅力化に向けた意見交換等
- ・今後、特に生徒数減少の著しい地域、高校について個別検討を進める

平成28年12月～平成29年10月 北桑田高校・須知高校の在り方検討会議〔各4回開催〕

- ・各校の地元地域関係者を中心に高校の活性化案等について意見交換

2 丹後地域関係(丹後・与謝の高校再編問題を考える会からの要望等について)

平成29年12月11日付けで同会から提出のあった要望「久美浜高校の教育の充実について」に関し、新たに署名207筆及び意見4件が追加提出されたもの。

(前回提出 署名1,378筆及び意見48件 合計 1,585筆及び意見52件)

京 都 府 知 事 山 田 啓 二 様
 京都府教育委員会教育長 橋本 幸三 様

久美浜高校の教育の充実を求める署名

京都府教育委員会は、2017（平成29）年度の中学1年生が高校に入学する2020（平成32）年度から久美浜高校と網野高校を1つの高校にまとめるという「学舎制（キャンパス制）」を導入しようとしています。さらに、府教委は、久美浜高校再編後の設置学科を、現行の「総合学科」から「農業に関する学科（丹後の農業中核校としての位置づけ）」とすることを検討しているが、当該の中学生にも、保護者にも一切知らせることなく押し進めようとしています。

久美浜高校は、明治期の農学校開設以来115年の歴史を持ち、地域の最高教育機関として大きな役割を果たしてきました。同窓生は1万3千人を越えています。かつては普通科を中心に農業科と家政科を備え、地元の多くの生徒の学舎でした。しかし、1998年に総合学科に改編された後、普通科教育を受けるため他町へ通学する生徒の流れが加速しました。

府教委が2016（平成28）年9月に実施した「アンケート」では、「統廃合」や「学舎制」よりも「本校のまま継続」を最も多くの方が望み、「丹後地域の府立高校に必要だと思う教育内容」として「普通科教育」が84.8%と圧倒的な割合を占めました。この結果からも「現在の府立高校を維持し教育の充実を図ること」「普通科教育を充実させること」が多くの保護者の願いであることが示されました。

府教委が押し進める今回の再編が、久美浜高校の長い歴史の灯を消すことにつながるのではないかと不安が地元にも生まれています。私たちは、地域の子供も達が通いたい学校を地元で再生することを強く願っています。生徒・保護者の多くが希望している普通科の設置・充実を中心とした再編を行うことこそが現状打開の道ではないでしょうか。

以上のことから、私たちは次の事項の実現を求めます。

【 要 望 事 項 】

- 一、久美浜高校と網野高校での「学舎制導入」案を見直し、それぞれ単独校として残すこと。
- 一、「本校継続」「普通科教育の充実」という保護者の意見を尊重し、久美浜高校の学科編成を普通科を柱にして行うこと。
- 一、小規模校のメリットが最大限生かされるよう久美浜高校に必要な教員配置を行うこと。

名 前	住 所

私 の 一 言

取扱い団体 丹後・与謝の高校再編問題を考える会
 連絡先：奥丹後地方教職員組合（〒629-2503 京丹後市大宮町周枳1767 ☎0772-64-3233）

私 の 一 言

久美浜町から高校をなくさないで下さい。

私 の 一 言

母校をなくさないで下さい。

私 の 一 言

母校がなくなるのに非常に悲しいことで、伝統ある久美高は絶対なくさないで下さい。抗議します

私 の 一 言

子ども達が、やりたい事も出来ない時代って感じかします。クラブも夏が盛む。時間に余裕が持てる環境を作らないといけないと思います。大人都合社会の都合で

取扱い団体 丹後・与謝の高校再編問題を考える会

連絡先：奥丹後地方教職員組合（〒629-2503 京丹後市大宮町周枳1767 ☎0772-64-3233）

物事を決めるときは反対です。

